

木馬会会報 (第48号)

* 皐月賞特集 *



96/04/12

今週から本誌はへなりんに変わりました。頑張ってください。(頑張ります。BYへな)

～木馬達の予想～

本誌“へな”ってゴメンネ

皐月賞

◎…サクラスピードオー ○…ミナモトマリノス ▲…チアズサイレンス
△…イシノサンデー ロイヤルタッチ キャッシュラボーラ ダンディコマンド

…“へな”の理屈…

本命は当然 I LOVE サクラスピードオー。昨年秋から何度となく能書きをたれてきたので、今更この馬の素晴らしさについては書く必要もないでしょう。今回からなんとあの横典が騎乗する訳ですが、“鬼に金棒”とは正に今回のような事を言うのだとつくづく思っております。久々が心配だって？誰だいそんな戯けたことを言っているのは。中間に十分すぎるくらい乗り込んでいるし、横典様が毎週のように跨ってしっかりと追っているの、使い込んで疲労がたまっているような馬に比べたら、格段素晴らしい状態に仕上がっている事でしょう。元々脚元の弱い馬だけに間をあけた方が良いでしょう、絶対に。バブルがいたって、ダンスがいたって勝つと思っていたわけですから、今回のメンバーなら確実に勝ちます。自信度100%。……来週の新聞の見出し“横典クラシック初制覇！”……間違いなし。

相手は、前走の道悪競馬の敗戦で馬自信が精神的に落ち込んでいそうなタッチ君よりは抜群の能力を持つイシノサンデーや、絶好調浅野厩舎の大黒柱ミナモトマリノス、世界のロバーツが乗るチアズサイレンスが狙い目。大穴ならブライアン2着にきたサクラスーパーオー的なイメージを漂わせるマウンテンストーンか。(出走できればの話)(除外でした)

先週の桜花賞で“四国の井崎”さんが書かれていた「フェビラスラフィン」(父フェビラスダンサー)という馬は実は私も物凄く注目しております。新馬戦の勝ちっぷりから“これは”とは思ってはいましたが、続く特別の桁違いの走りを見ると相当な大物かもしれません。関東の最大の注目馬「ダイワカーリアン」(これはかなりの馬だよ)との対決が本当に楽しみです。ニュージーランドになるのかマイルCになるのかわかりませんが、期待しましょう。

本誌陥落 栄蔵の1番弟子 TP

皐月賞

◎…イシノサンデー ○…ロイヤルタッチ
△…ミナモトマリノス、ローゼンカバリー、チアズサイレンス、ナムライナズマ、マキノプリテンダー、キャッシュラボーラ

～予想者の屁理屈～

もうやんなっちゃうよ。2回目の書き換え。面倒くさいからあまり変えないことにした。またこのレースも買えなくなった。前々号で、今年の競馬が面白くなってきたと書いたが、エアグループもダンスインザダークもここを熱発で回避するということはオークス、ダービーでも本命にできないということで、一気につまらなくなったといえる。これで来週ブライアン、トップガンが回避しようものなら、春競馬をやる気がなくなるよ。

(バブルガム回避決定時に書いたもの)非常に残念だ。と同時にやっぱりかとも感じた。私はこれだけが心配だった。無事に復帰して欲しい。半年も経てば化骨も進み、自分の筋力に見合った体になっているだろう。その時の走りを見るのを楽しみにしよう。フジキセキは2度とターフに戻らなかったが、君にはまだ可能性がある。その底知れぬパワーを持った走りがどんなものか、私は見てみたい。こんな気分はトウカイテイオーが骨折していたとき以来のものだ。岡部に冗談を言わせた馬バブルガムは、やはり岡部が心配していたとおり、弾けた。私は今週木、金と出張なので皐月賞の原稿は4月の初めに書いておいた。私はバブルガムの強さに惚れていたから、その部分は消さずに掲載することにする。当時書いたものを少しもいじっていない。何十年も競馬をしながら馬の強さを見ぬけず、データに頼った視点で暴言を吐く井崎脩五郎を競馬会から追放して欲しかった。

「私はこの馬はフジキセキに匹敵するほどの強さだと思っている。スプリングSも着差はわずかながらまだまだ余裕があり、道中引っぱり通しだったことも考え合わせると相当な能力と見れる。無事に走っているのが不思議なくらいだ。脚質はジェニユインにそっくりだが、能力はジェニユインを2回りスケールアップしたぐらいだと思っている。」

やっとサンデーサイレンス産駒の特徴の1つを見つけることができた。その特徴とは、「自身の持つ能力分はきちんと走る」。もちろんその各馬の持つ能力の平均レベルが高いので2年目にしりーディングの1位を独走しているわけである。しかしあっと驚く激走がないのもまた事実。ブライアンズタイムやリアルシャダイ産駒のようにある時期にぐんぐん力をつけたり、いきなりGIで激走してみたりということがない。ただしいつも自身の力分は走るのでもそこそこのレースをしていた馬が展開や有力馬の凡走に助けられて連対をすることはある。

さて今年の皐月賞だが、SS産駒は4頭出る予定である。チアズはスプリングSでバブルガム以外にこれといった馬がいなくて(ダンディコマンドは明らかに短距離馬)、自分の力分を走ったらうまく連対でただけで、能力は劣る。イシノはかつてSS産駒4強の一角に数えられていたが、弥生賞の3着で株を落とした格好になっている。これは母の父アリダーの詰めの甘さを受け継いでいるのが原因である。前走で人気を下げ、今回はまかり間違えば5番人気にまで下がるはず。結構おいしい馬になった。続いてロイヤルだが、前走の2着は気にする必要はない。若葉Sを道悪で凡走し、巻き返した馬にナリタタイセイとタヤスツヨシがいる。しかもロイヤルの場合4角先頭という無茶な競馬をしており、1着馬との差は道悪の巧拙の差でしかない。鞍上南井も納得。次にダンスだが、この馬は確実に強くなっている。レースが器用になり、切れる脚も持っている。何しろしっかり自分の力は発揮する血統に武。これが何にもまして心強い。ほかに挙げるならミナモトマリノス。前走の末脚は見事で、時計の早いレースに対応できるなら3頭の足元を掬えるかもしれない。ニジンスキーの子イルドブルボンの産駒で、ヌレエフの子のフォティテン産駒のワンダーパフェームが桜花賞を勝ったように、それだけの底力を伝えるバックボーンはあるはず。

さて、私は3/24のスプリングSが終わった後の井崎脩五郎の言葉に頭にきた。「バブルガムは本命にできない。ダンスは無印。突き抜ける力がないから。」普段探偵事務所でパツとしない女(吉野公佳、てめえのことだ。猫女みたいな顔しやがってアップに耐えられないんだよ。最近中央競馬ダイジェスト

でくだらん女を出す為に、録画ビデオを1.2倍ぐらいのスピードでまわす為、ぜんぜん参考にできない。何を考えているんだ、フジテレビは）相手にくだらんデータを基に適切なことをのたまっていることは、実際にはそのとおり馬券を買っていないのを知っているから許す。だが、突き抜ける力がないのになぜジェニウインは皐月賞を勝った？ナリタタイシンも2馬身以上離して勝ったことがなかった。データに頼りすぎて馬の力を見極められないんじゃないか。SS産駒3騎よ、井崎の鼻の穴を3つほど開かしてやれ！

井崎の鼻の穴を3つほど開けな！

と、書いたがまったく役に立たなくなった。今週の提言も何の意味もない。つまり。簡単にまとめて終わりにする。本命はイシノサンデーだが、これは勝つというのではなく、2着になる可能性が一番高いと捉えてくれればよい。前述したように詰め甘さが付きまとうからだ。素直に相手はロイヤルタッチ。だが、こここのところの3頭の本名馬回避でこれで素直に決まらないかもしれない。あっさりの可能性もあるが。であるから、連穴に6頭羅列する。ミナモトマリノスは前走鮮やかだが、不良馬場、小頭数で勝ったものであり、冷静に考えれば買いかぶりすぎかもしれない。チアズサイレンスは前述した通りだが、このメンツなら連対してもおかしくない。また、これに葉牡丹賞、若竹賞で先着しているマキノプリテンダーも差はないはず。前走は道悪が原因。ナムライナズマは皐月賞で穴を開ける追い込み脚質。前走、外国産馬の有名どころを千切り、時計も優秀で捨て切れず。キャシュラボーラも一戦毎にレースぶりがよくなっている。ローゼンカバリーは血統だけで人気になっており、私の好きなタイプではないが、相手なりにのしぶとさが、以外と穴を開けるかも。因みにスピードオーは好きな馬だが、ホープフルSの内容から2000mでは押さえて伸びるタイプではなく、かといってハナを切ってこの距離が持つタイプとも思えない。横山典とはいえ難しいだろう。

先週は桜花賞のみをやってももちろんはずれ。それ自体は別に良い。もともと混戦だということは分かっていたから。ところがリトルオードリーやピウハイジの惨敗には納得いかん。特に不利はなく、調子もよかったはず。じゃあトライアルは何だったんだ。何がレベルの高い戦いだ。結局結論としては、ヘクタープロテクターは早熟血統。底力がない。ジェイドロバリーと非常によく似た血統といえるだろう。また持ち込みの良血馬というのも結局タフさが無い。クリエイターもGIを勝てるほどの底力を伝えない。こんなまとめ方にしてみる。オークスはまじめに買えない。ファイトガリバーとこれから現れる新興勢力で遊んでみるか。現在の回収率83.6%。

予想者 メニーフレンズ

ごめんね、フェロー君

メニーフレン（ズ）

◎ メイショウジェニエ

○ イシノサンデー

▲ ロイヤルタッチ

△ ダンディコマンド、チアズサイレンス、ミナモトマリノス、ローゼンガバナー

今回は、レースも極めて難解で、正直言って予想も立てにくいので、皐月賞にからんだ僕の想い出話でも聞いて下さい。予想には関係ないので急いでいる方は飛ばしてもいいですし、原稿スペースがなければ、ボツにでもして下さい。

社台の親しい会員にW氏（あえて特命にする必要はないのだが）夫妻がいます。5年前の社台の牧場ツアーからの知り合いで、当時ツアーで一人ボツンとしていた僕に優しくしてくれた素敵な中年の夫妻です。現

在、用賀のマンションに住んでいます。どうやら子供もいそうになく、僕もいつか結婚したらああいう夫妻になりたいものだと、常々思っています。彼らは、何故かお金があるせいか、常時2〜3頭のクラブ馬、しかもスカーレットブーケやニフティニースといったばりばりのオープン馬（もちろんみんな高い馬）を所有しており、毎年の年賀状にはそれらの馬の現況が書いてあります。その今年の年賀状にはこう書いてありました。

「今年はバブルガムフェローで夢が叶いそうです。」。

その年賀状を読んだ時、「ガーン」とショックを受け、正直いって彼らを憎みました。何故、同じ馬を買うとうと僕を誘ってくれなかったのかと（どうせ誘ってくれても、お金はありませんが）。しかし、皆さんご存じの通り、バブルガムフェローは皐月賞には出れません。まるで僕の怨念が天に通じたかのように…。W氏夫妻の落胆した気持ちが痛いようにわかります。ごめんね、フェロー君。

そこで予想ですが、この状況はあまりにも昨年のフジキセキ・ジュニウインと似ていないでしょうか。同じ社台の同期。同じ父親。しかし、2年続けて同じことはないだろう、と思っていたら、キッスインザダークも回避してしまいました。

仕方がないので、本命は昨年と同じ名前の馬（「名称は、ジェニエン」ってか。）にします。田原が先週、2年続けて同じようなことをしてしまいましたし（意味不明）。

トゥインクルダンディの予想

バブルガムそしてダンスの出走回避で、競馬界そしてJRAは新たなヒーローの出現を待っているはず。ヒーローに敗北は許されない。そこで無敗馬ミナモトマリノスに期待する。全ての勝利がダートと道悪のためそれほどの人気にならないかもしれないが（さらにいえばダート血統のプリンスという感もなくはないが）、この馬はきつともものすごく強い！と思いたい。前走凡走で人気落ち（それでも2番人気にはなりそうだが）イシノサンデーとの一点勝負で大儲けといきたい。印はいろいろつけるが私はこの馬券しか買わない。

ジョワイヨクチュールの独り言

私はミナモトマリノスが大のお気に入りです。

四国の井崎

今週はちょっと紙面をたくさん下さいね。

まずはG1のスタートがうまく切れた。ほんとに僕は牝馬G1万馬券に強い。桜花賞は2度目で、エリザベスの3回と合わせて5度目のマンシュウだ。ウレシイ。

◎イブキバーシヴがきっちり2着。オリンピックイヤーの5の目買いで枠連2-7が的中。とにかく本命からの5の目買いは朝1番9時に投票することになっている。受付番号が1313でゲンが良く喜んだ。芦毛のイブキを応援するためこの日はグレイのジャージを着て応援したかいたった。

「先週の止そう」どおり人気どころへ流したため、ウインズでの購入分の的中はイブキの複勝だけだった。しかし、最終パドック診断で、特に良かったのがファイトガリバー、これがものすごい出来に見えた。イブキ、ヤエガキ、ソロシガーがその後につづき、人気の6枠2頭、マックスロゼはだめだった。人気どころはウインズで購入済みだったので、枠連2-7、7-7、7-8と馬連4、13、15のBOXを電話投票。これが見事に嵌まった。

	阪牝	朝日	ｽﾌﾟ	有馬	桜花	皐月	天春	安田	ｵｰｸｽ	優勝	宝塚	天秋	菊花	ｵｰｸｽ	ﾏｲﾈC	J C	阪牝	朝日	ｽﾌﾟ	有馬	桜花
4	へなりん	◎	○	○	○					○	○									○	
1	四国の井崎			○					○	○				☆				○	○		
2	TP	◎	○			○				○						○				○	
6	ナリウナー		○	○					○	○				☆							
3	羅面デスラー			○		○			○	○										○	
5	トイカゲンディ		○						○		○							○	○		
	にーブルズ					○				○								○			
	おけらくん					○				○										○	
	ラッキー		○							○	○										
	ミスターX				○					○											
	YO			○						○											
	ジュイカチュウ	○								○											

○...～20倍 ◎...20～50倍 ☆...50倍～